

技術情報

日産 Y50系フーガ コーションプレート設置箇所

お問い合わせの多い、日産Y50系フーガ(前モデル)のコーションプレートの位置をご紹介します。
下記写真の通り、エンジンルーム内に設定されていますが、大きなカバーの下に隠れているためフードを開けただけでは視認できません。カバーの脱着が必要となります。



フードを開けた状態ではコーションプレートは確認できません。



前部・運転席側カバー(白線囲み)を外します。クリップは2箇所あります。
カバーを外すとストラット付け根横にコーションプレートがあります。

新製品情報

GENIUS(ジニアス) ハンマリングパネルしぼり機



(株)レポリューションより発売された「GENIUS・ジニアス」をご紹介します。ジニアスは電極部の先にハンマーをセットした全く新しい発想のパネルしぼり機です。ペコついてしまった薄い高張力パネルの張りを手軽に再現できます。

使用方法はとっても簡単。電源をいれ、アースをとり(ノンショートマグアースが付属されているので、損傷箇所に近い位置でアースがとれます)、しぼりたい箇所をハンマリングするだけです。腰の抜けている中心点に向けて軽くハンマーをいれるのがポイントです。あとはエアーで冷却して、しぼれたか確認してください。しぼりが不足であれば繰り返し作業を行います。



①腰の抜けている中心点を探す。

②外側より中心点に向けハンマーを軽く入れます。強く叩かないでください。

③パネルをエアーで冷却して下さい。

④確認作業



ハンマーのヘッドは交換式ですので、アルミパネル用ヘッド(オプション品)を使用してアルミパネルのしぼりも可能です。また反対側は細いヘッドでよりピンポイントのしぼりも行えます。また低電流の為、パネル裏面の焼けが少ないこともポイントです。

(ご使用上の注意点)

ハンマリングの際、スパークの火花が発生しますので、保護メガネの着用、(バッテリー)サージプロテクターのご使用をお勧めします。

ご提案製品

オートサージプロテクター(バッテリープロテクター)

上記ジニアスの注意事項にも記載しましたオートサージプロテクターをご紹介します。スポット溶接やスタッド溶接(特にコンデンサータイプ)、プラズマ切断機などの高電圧による作業は、放電の瞬間に極度の高電圧(スパイク)、高電流(サージ)を発生させ、電子機器・電子回路などに破損の影響を与える恐れがあります。

本来であれば上記作業を行う際は、バッテリーコードを外しバッテリー経由で流れる高電流を遮断する必要があります。しかし、バッテリーコードを外すと電子機器のメモリーや、ナビ・オーディオなどの設定・コンピューターの情報など暗電流で保持されていた情報がすべて消去され、再セッティングをしなければなりません。そこでバッテリーをつけたまま電子回路をサージから守るオートサージプロテクターをお勧めします。バッテリーの端子につなぐだけでOKです。サージが発生した場合オートサージプロテクターが電子回路を保護します。(*電流のまわりかたによっては保護できない場合もあります)

